

平成 24 年度 (2012)

慶應義塾大学入学試験問題

商 学 部

日 本 史

- 注 意
1. 受験番号と氏名は、解答用紙 A (マークシート) と解答用紙 B のそれぞれ所定の欄に必ず記入すること。さらに、解答用紙 A (マークシート) の受験番号欄をマークすること。
 2. 解答は、必ず指定された解答用紙の所定の欄に記入ないしマークすること。解答欄外の余白および採点欄には一切記入してはならない。
 3. 解答用紙 A (マークシート) への記入に先立って、用紙上に記載された注意事項を必ず読むこと。
 4. 解答用紙 A (マークシート) の解答欄にマークするときには、すべて HB の黒鉛筆を使用し、また、次の解答例に従うこと。

(解答例) (12) と表示のある問いに対して、3 と解答する場合は、右に示すように解答欄 (12) の③にマークすること。

なお、2桁の数字の場合には、以下のようにマークすること。

例えば、空欄 (19) (20) の解答が 3 6 の場合、解答欄 (19) の③にマークし、解答欄 (20) の⑥にマークする。

5. 問題用紙は下書きに用いてよろしい。
6. この冊子の総ページ数は 8 ページである。

(12)

0
1
2
●
4
5
6
7
8
9
10

試験開始の合図とともに全てのページが揃っているか確認してください。ページが抜けていたり重複するページがあったら直ちに監督者に申し出てください。

《指示があるまで開かないこと》

I. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

日本的経営の特徴のひとつとされる集団主義となった理由として、日本人が農耕民族であることがあげられる。日本において、土地を耕し稲を育てる生活はいつから始まり、どのような変化があったのだろうか。

(ア)群馬県の岩宿遺跡の調査で、1946年、関東ローム層から石器が発見され、日本の旧石器時代の文化の存在が明らかになっている。その後の縄文時代には、人々は食料を求めて移動し生活をしていた。当時の人々が食物を捨てた場所として貝塚がある。アメリカ人モースは1877年、東京の (1) (2) 貝塚の調査を開始した。

食料の獲得の方法が多様化すると、人々は定住生活を始めた。佐賀県の (3) (4) 遺跡や福岡県の (5) (6) 遺跡などで発見されたように、縄文時代の終わり頃には水田での米づくりが開始された。中国大陸で紀元前7～6世紀に (7) (8) 下流地域で始まった稲作は、朝鮮半島を經由して、金属器生産などの新しい技術とともに日本列島にも伝わったと言われる。初期の稲作文化が定着したのは九州北部だけではないことが、(イ)青森県の三内丸山遺跡で当時の水田が発掘されたことからわかる。

紀元前4世紀はじめ、西日本に水稻耕作を基礎とする文化が成立し、その後東日本にも広まった。ちなみにこの時代の土器の名称は、東京本郷の (9) (10) 貝塚での発見にちなんだものである。水田での食料生産は(ウ)道具の発展とともに生産性を上げ、人々の生活に変化も生みだした。生活は安定し集落が形成されると、人々の間には身分の差が生まれ、強力な支配者も出た。(エ)集落同士の争いも始まり、小国の王が生まれた。敵に備えた防御集落として、環濠集落や高地性集落などがあり、当時の様子は佐賀県の (11) (12) 遺跡、愛知県の (13) (14) 遺跡、奈良県の (15) (16) 遺跡からもうかがえる。「倭人」と呼ばれた日本人は紀元57年、当時の中国の都である洛陽に赴き、印綬を受けた。(オ)この時の金印は福岡県の (17) (18) で発見されている。

5～6世紀になると古墳を自分の力でつくる有力農民も出現した。(カ)古墳はすでに弥生時代後期から出現していたが、時を経てより大規模になる。前期古墳として奈良県の (19) (20) 古墳が、また大規模な古墳としては、大阪府の (21) (22) 古墳が有名である。一方、有力農民も家族墓的な性格の群集墳を築いた。奈良県の (23) (24) 古墳群はその一例である。

(キ)大化改新後の律令制施行により、民衆は戸籍・計帳に登録され、行政組織の最末端、法律・行政上の班田や租税負担の単位として、25人程度から編成される (25) (26) に口分田が与えられた。717年～740年頃の郷里制施行下では、この単位を実際の生活単位である直系家族を中心とした (27) (28) も新設された。律令制下では国が春に稲を貸し付け、秋に高い利息とともに徴収する (29) (30) も実施された。しかし、8世紀初頭には口分田は荒廃した。政府は人口増加による口分田の不足に対応するため、百万町歩の開墾計画を立て、723年に (31) (32) 法を施行した。のちに743年には (33) (34) 法を公布し、開墾した田地の私有を保障した。これはかえって貴族や寺院が私有地を増やすきっかけとなり、荘園の起源となった。

このように生活の糧を生み出す目的から始まった農業は、統治者にとって財源を生み出すものとなり、人々の間に富裕の差が生まれ、働き手である多くの農民の生活は(ク)平安時代には農業技術の向上にもかかわらず厳しいものとなった。

〔A〕 文中の空欄 (1) (2) ～ (33) (34) に入る最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- | | | | | |
|--------|----------|---------|-----------|---------|
| 11 阿久 | 12 石塚山 | 13 板付 | 14 伊都国 | 15 岩橋千塚 |
| 16 上野原 | 17 太田天神山 | 18 大塚 | 19 大森 | 20 加懇禁止 |
| 21 加曾利 | 22 唐古・鍵 | 23 官戸 | 24 黄河 | 25 郷戸 |
| 26 荒神谷 | 27 戸口 | 28 五色塚 | 29 壺田永年私財 | 30 雑戸 |
| 31 里浜 | 32 三世一身 | 33 紫雲出山 | 34 志賀島 | 35 正税 |
| 36 出挙 | 37 珠江 | 38 雑徭 | 39 租庸調 | 40 大山 |
| 41 津雲 | 42 造山 | 43 寺野東 | 44 虎塚 | 45 鳥浜 |
| 46 登呂 | 47 夏島 | 48 菜畑 | 49 新沢千塚 | 50 能古島 |
| 51 箸墓 | 52 班田収授 | 53 班田農民 | 54 日置 | 55 日高 |
| 56 房戸 | 57 妻木晩田 | 58 向ヶ岡 | 59 揚子江 | 60 吉野ヶ里 |
| 61 陵戸 | | | | |

〔B〕 (1) 下線部 (イ) について、三内丸山遺跡で出土した物として当てはまらないものを下の選択肢から 1 つ選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (35) にマークしなさい。

- 1 掘立柱建物 2 円筒土器 3 栗 4 土師器

(2) 下線部 (ウ) について、下の選択肢の中で、利用された時期の順に並べられていないものを 1 つ選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (36) にマークしなさい。

- | | | |
|---------|--------|--------|
| 1 細石器 | → 石馬 | → 石錘 |
| 2 骨角器 | → 石包丁 | → 須恵器 |
| 3 竪穴式住居 | → 高床倉庫 | → 校倉造 |
| 4 磨製石斧 | → 木鋤 | → 鉄製鋤先 |

〔C〕 下記の設問の解答を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

- (1) 下線部 (ア) について、この遺跡の最初の発見者は誰か、その氏名を書きなさい。
- (2) 下線部 (エ) について、当時の小国分立の状況を記した中国の史書の名を書きなさい。
- (3) 下線部 (オ) について、この金印に書かれていた文字を書きなさい。
- (4) 下線部 (カ) について、古墳時代中期の 5 世紀初めから、1 世紀の間に中国の南朝に朝貢したと『宋書』倭国伝に記されている、倭の五王の名を朝貢した順に、すべて書きなさい。
- (5) 下線部 (キ) について、大化改新がおこなわれた時の天皇の名前を書きなさい。
- (6) 下線部 (ク) について、平安初期に天皇の財源として設置された土地を何と呼ぶか。

Ⅱ. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

1880年代の松方デフレ政策は、農村に不況をもたらし、農民の階層分化を進めた。1890年代になると、都市人口が増加して、米が有利な商品作物となった。こうした中で地主は、小作米の販売で大きな利益を上げることができた。そのため、^(ケ)地主と小作人の経済格差は拡大して、小作地率は増加した。^(サ)土地と資本を蓄積した大地主の多くは、農地を小作に出して、小作料を受け取り、企業経営に参画したり、公債や株式に投資したりした。彼らは支配勢力として、地方政治や国の政治に大きな影響力を持つようになった。

これに対して、政府は、農民を組織することで、農業の近代化や農家経営の維持を図ろうとした。1899年には、(37) (38) を定め、補助金を出して地主を中心に農業の改良を図った。また、1900年に、(39) (40) を制定して、共同購入や販売などをおこなう協同組合の設立を促した。農村においては、地主対小作人の対立が進展して、小作問題が起こった。

1917年、第一次世界大戦の長期化に伴い、軍用米の需要が増えると、米価が次第に上昇し始めた。翌1918年に入ると、米価が急騰したために、^(シ)民衆による米の廉売を求める米騒動が全国各地で起こった。そこで、政府は、植民地米の移入による米価安定策を整備した。小作農は、小作争議を通じて、地主に小作料の減額を要求するなど、地主と小作人との農業利益の配分に関して、小作人の権利意識が高まった。そして、1922年には、杉山元治郎らにより (41) (42) が結成され、^(ス)各地の小作争議を支援した。これに対して、政府は、1924年に (43) (44) を制定して、裁判所を通じて地主の利益を擁護しようとした。また、地主も農民の闘争に対抗して、1925年、(45) (46) を組織した。

普通選挙制度導入後の1925年12月には、最初の無産政党として、(47) (48) が結成されたにもかかわらず、即日解散を命ぜられた。翌年3月に、右派・中間派を中心に (49) (50) が結成されたが、左派の加盟要求が激化すると、右派は脱退して (51) (52) を結成し、この脱退に反対した中間派は (53) (54) を結成した。

1930年に入り昭和恐慌が起こると、政府は、階級間対立を鎮静化させて、^(セ)農村の窮乏を農村自身の力で救済するために、勤儉と共同作業による経費の節減を図る運動を展開した。

第二次世界大戦後、地主制が軍国主義の基盤になったとして、GHQは農地改革を指令した。1946年、政府は、第一次農地改革を実施したが、GHQの指令を十分に満たしていなかったため、(55) (56) の再改正と、(57) (58) を定めて、^(ソ)第二次農地改革を実施した。これにより、全農地のうちの半分近くを占めていた小作地は、1割程度まで減少した。また各市町村では、(59) (60) が設置されて、農地の買収や売渡しなどを実施した。大地主たちは、低額の金納小作料を保障されたが、従来の経済力と社会的威信を失い急速に衰退していった。

農村では、農民運動が高まり、農作物の強制的供出や地主の土地取り上げなどに反対した。1947年には、(61) (62) が組織され、農民の生活を守る活動をおこなった。また、これまで無産政党を支持していた小作人たちは、自作地を持つと、次第に保守化し、のちに (63) (64) の支持基盤となっていった。

戦後の農業では、経営規模の拡大や機械化の推進などによって、自立経営農家を育成する一方で、農業人口を適正水準まで引き下げて農業の構造改善を図る目的で、1961年に (65) (66) が制定された。

^(タ)政府は、米麦の需要と供給の安定を図るために補助金を投入し、生産・流通・消費にわたって政策介入をおこなった。

〔A〕 文中の空欄 (37) (38) ～ (65) (66) に入る最も適切な語句を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

- | | | | |
|---------------|------------|----------------|-------------|
| 11 小作人組合 | 12 小作調停法 | 13 産業組合中央会 | 14 産業組合法 |
| 15 自作農創設特別措置法 | 16 社会主義研究会 | 17 社会大衆党 | 18 社会民衆党 |
| 19 社会民主党 | 20 自由民主党 | 21 重要産業統制法 | 22 全国水平社 |
| 23 全国農業会議所 | 24 全国農事会 | 25 全国農民組合 | 26 全国農民連盟 |
| 27 大日本地主協会 | 28 大日本農会 | 29 大日本労働総同盟友愛会 | 30 土地復権同志会 |
| 31 独占禁止法 | 32 日本共産党 | 33 日本協同党 | 34 日本社会主義同盟 |
| 35 日本社会党 | 36 日本農民組合 | 37 日本労働総同盟 | 38 日本労農党 |
| 39 農会法 | 40 農業基本法 | 41 農業協同組合 | 42 農政研究会 |
| 43 農談会 | 44 農地委員会 | 45 農地制度改革同盟 | 46 農地調整法 |
| 47 農地法 | 48 農民労働党 | 49 友愛会 | 50 労働組合法 |
| 51 労働農民党 | 52 黎明会 | | |

〔B〕 下線部 (ソ) について、第二次農地改革の内容に関し、下の選択肢から適切でないものを1つ選んで、その番号を解答用紙 A (マークシート) の解答欄 (67) にマークしなさい。

- 1 在村地主の貸付地の1町歩を超える分を国家が強制的に買い上げる。
- 2 地主の保有面積計算を世帯単位とする。
- 3 小作料は、金納も物納も認める。
- 4 不在地主の農地保有は認めない。

〔C〕 下記の設問の解答を解答用紙 B の所定の解答欄に書きなさい。

- (1) 下線部 (ケ) について、この時の地主が大きな利益を上げられた制度的理由を、30字以内で述べなさい。
- (2) 下線部 (コ) について、1899年に刊行された、東京の下層労働者や小作人の実態を調査して、社会のひずみを訴えた著書『日本之下層社会』を著した人物の名前を漢字で書きなさい。
- (3) 下線部 (サ) について、このように、農地を小作人に耕作させて、地代として小作料を徴収して生活する地主を何というか。
- (4) 下線部 (シ) について、富山県魚津町に発生し、その後の米騒動のきっかけとなった騒擾は、一般に何と呼ばれているか答えなさい。
- (5) 下線部 (ス) について、杉山元治郎とともに農民運動に取り組み、また労働者の生活安定のための協同組合設立に尽力した社会事業家の名前を漢字で書きなさい。さらに、この人物の自伝的小説として、当時ベストセラーになった書名をあげなさい。
- (6) 下線部 (セ) について、政府が主導して展開されたこの運動を何というか。
- (7) 下線部 (タ) について、このように、米麦の需要や供給を統制することにより、農業収入の安定・増加を図るためにとられた制度を何というか。

III. 次の文章を読み、下記の設問に答えなさい。

1914年7月に、第一次世界大戦が始まった。第2次 (68) (69) 内閣は、ヨーロッパ諸国が中国問題に介入する余力のないことを利用して、^(チ)1915年に中国の袁世凱政府に二十一カ条の要求を突き付け、大部分を承認させた。日本の中国進出に対しては、アメリカがもっとも批判的であった。そこで、アメリカとの関係を調整するために、1917年に日本の特派大使 (70) (71) がアメリカの国务長官ランシングと交渉し、中国の領土保全・門戸開放と日本の中国における特殊権益の承認を確認しあった。

^(ツ)1918年、ドイツが降伏し、第一次世界大戦は連合国側の勝利に終わった。翌年にパリで講和会議が開かれ、日本も5大連合国の一員として (72) (73) らを全権として派遣した。6月に講和条約が調印され、ヨーロッパでは新しい国際秩序のヴェルサイユ体制がつくられた。パリ講和会議では、アメリカ大統領 (74) (75) の提議により、国際連盟の設立が決められた。国際連盟は、1920年に発足し、日本は常任理事国の一つとなった。

1921年、アメリカ大統領 (76) (77) は、海軍軍縮と太平洋および極東問題を審議するために、ワシントン会議を開催した。日本は海相の (78) (79) ・駐米大使 (80) (81) らを全権として派遣した。ワシントン会議においては、まず、米・英・仏・日の間で、太平洋諸地域の現状維持を決めた四カ国条約が結ばれ、これにより (82) (83) が廃棄されることになった。翌1922年、九カ国条約とワシントン海軍軍縮条約が結ばれた。それらの一連の国際協定にもとづくアジア・太平洋地域の新しい国際秩序は、ワシントン体制とよばれた。

1931年9月18日に、満州事変が勃発した。第2次 (84) (85) 内閣は、事変の不拡大方針を表明した。国際連盟は、事実調査のためにイギリスの (86) (87) を団長とする調査団を日中両国に派遣した。しかし、^(テ)1932年3月に、関東軍は清朝最後の皇帝を執政として、満州国の建国を宣言させた。同年9月、(88) (89) 内閣は、日満議定書を取りかわして満州国を承認した。しかし、国際連盟は1933年2月の臨時総会で、満州国が日本の傀儡国家であると認定し、日本に対して満州国の承認を撤回するよう求める勧告案を採択した。(90) (91) ら日本全権団は、総会から退場し、^(ト)3月に日本政府は国際連盟からの脱退を通告した。

1937年7月7日に起こった盧溝橋事件をきっかけに、日中両国は全面戦争に突入した。^(ナ)1938年11月、近衛文麿首相は、日本の戦争目標が東亜新秩序の建設にあるとの声明を出した。アメリカはこれを自らの東アジア政策への本格的な挑戦とみなし、1939年7月に (92) (93) 条約の廃棄を日本側に通告した。同年9月、第二次世界大戦が始まった。1940年9月、日本軍は (94) (95) に進駐し、ほぼ同時に日独伊三国同盟が締結された。この間に日米関係はしだいに悪化していった。^(ニ)第2次近衛内閣では、日米衝突を回避するため、1941年4月から本格的な日米交渉を開始したが、妥協点を見出せなかった。10月16日に第3次近衛内閣は総辞職し、(96) (97) 内閣が成立した。12月8日、日本陸軍は (98) (99) に奇襲上陸し、日本海軍がハワイ真珠湾を奇襲攻撃して、太平洋戦争が開始された。

戦局は、はじめ日本軍が優勢であったが、1942年6月の (100) (101) 海戦を機に、アメリカの対日反攻作戦が本格化した。1943年11月、米・英・中の3カ国首脳がカイロで会談し、日本領土の処分方針を決めた。1945年2月に、米・英・ソの3カ国首脳が (102) (103) で会談して、ドイツ処理問題を協

定した。7月には米・英・ソの3カ国首脳がポツダムで会談をおこない、米・英・中の名で、日本軍への無条件降伏勧告と日本の戦後処理方針からなる宣言が発表された。〔(104)〕 (105) 首相はポツダム宣言の受諾を決意し、8月14日、御前会議で天皇の決断によりそれを決定し、連合国側に通告した。翌15日、天皇のラジオ放送で戦争終結が全国民に発表された。(ヌ) 9月2日、東京湾内のアメリカ軍艦ミズーリ号上で日本政府と軍代表が降伏文書に署名して、4年にわたった太平洋戦争は終了した。

〔A〕 文中の空欄 (68) (69) ～ (104) (105) に入る最も適切な語句や人名を下の語群より選び、その番号を解答用紙 A (マークシート) の所定の解答欄にマークしなさい。

《語群》

11 アイゼンハワー	12 ヴィッテ	13 ウィルソン	14 ガダルカナル島
15 スチムソン	16 テヘラン	17 トラウトマン	18 トルーマン
19 ノモンハン	20 パークス	21 ハーディング	22 マーシャル
23 マッカーサー	24 マリアナ沖	25 マルタ	26 マレー半島
27 ミッドウェー	28 ヤルタ	29 リットン	30 レイテ島
31 ローズヴェルト	32 阿部信行	33 硫黄島	34 石井菊次郎
35 石原莞爾	36 板垣征四郎	37 犬養毅	38 宇垣一成
39 大隈重信	40 岡田啓介	41 尾崎行雄	42 桂太郎
43 加藤完治	44 加藤友三郎	45 加藤寛治	46 小磯国昭
47 西園寺公宗	48 西園寺公望	49 斎藤実	50 幣原喜重郎
51 鈴木貫太郎	52 高橋是清	53 寺内正毅	54 東条英機
55 南部仏印	56 西原亀三	57 日英同盟協約	58 日仏協約
59 日米修好通商	60 日米通商航海	61 日米和親	62 日露協約
63 浜口雄幸	64 東久邇宮稔彦	65 広田弘毅	66 北部仏印
67 松岡洋右	68 山本権兵衛	69 米内光政	70 若槻礼次郎

〔B〕 以下の設問の解答を解答用紙 B の所定の解答欄に漢字で書きなさい。

- (1) 下線部 (チ) について、この時の日本の外相は誰か、その氏名を書きなさい。
- (2) 下線部 (ツ) について、第一次世界大戦中、本格的な政党内閣が成立したが、その首相の氏名を書きなさい。
- (3) 下線部 (テ) について、清朝最後の皇帝は誰か、その氏名を書きなさい。
- (4) 下線部 (ト) について、この年の5月に、日本軍と国民政府の間に結ばれた停戦協定を何というか。
- (5) 下線部 (ナ) について、1938年、第1次近衛内閣のもとで公布され、政府は議会の審議を経ずに、勅令によって経済と国民生活全体の統制をおこなえるとした法律を何というか。
- (6) 下線部 (ニ) について、この日米交渉にあたった日本の駐米大使は誰か、その氏名を書きなさい。
- (7) 下線部 (ヌ) について、降伏文書に署名した日本の外相は誰か、その氏名を書きなさい。

日

〈以下余白〉